

Lifecycle Controller バージョン 3.11.11.11

Remote Services クイックスタートガイド

メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 はじめに.....	4
iDRAC With Lifecycle Controller を使用するメリット.....	4
Lifecycle Controller Remote Services を使用する利点.....	5
主な機能.....	5
Lifecycle Controller のライセンス可能機能.....	6
本リリースの新機能.....	6
Redfish と Service API について.....	6
Lifecycle Controller API について.....	7
1 対多管理について.....	7
2 Remote Services を使用した操作.....	9
導入と設定.....	9
監視.....	9
保守.....	9
3 API 関連資料およびリンク - はじめに.....	10
WSMAN プロファイル.....	10
WSMAN MOF WSDL および XSD API の定義.....	10
ウェブサービスインタフェースガイド.....	10
属性レジストリ XML.....	11
イベントメッセージレジストリ XML.....	11
XML スキーマ.....	11
Redfish.....	11
API アクセスの認証およびライセンス要件.....	11
4 Lifecycle Controller API の統合.....	13
API クライアント.....	13
ベストプラクティスワークフローのリファレンス.....	13
サンプルスクリプトとツール.....	13
Lifecycle Controller-Remote Services を使用するアプリケーション.....	14
WinRM および OpenWSMAN のインストールと設定.....	14
5 ソーシャルメディアリファレンス.....	16
システム管理フォーラム.....	16
関連マニュアル.....	16
デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	17
デルへのお問い合わせ.....	18
6 用語と定義.....	19

はじめに

Dell Lifecycle Controller は、グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) を使用してさまざまなシステム管理タスクを実行するための、高度な組み込み型システム管理を提供します。Lifecycle Controller は、最新のデルサーバの integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) アウトオブバンドソリューション、および組み込み型 Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) アプリケーションの一部として提供されます。iDRAC は UEFI ファームウェアと関係してハードウェアのすべての要素にアクセスし、管理します。これには、従来のベースボード管理コントローラ (BMC) の機能を超越するコンポーネントやサブシステムの管理も含まれます。

これは、次のような業界標準のインターフェイス上で開発されています。

- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) プラットフォーム
- Web Services for Management (WSMAN) インターフェイス
- Redfish マネジメントインターフェイス

Dell Lifecycle Controller Remote Services には、WSMAN および Redfish マネジメントインターフェイスが含まれています。これは、Dell OpenManage Essentials およびパートナーコンソールに組み込まれたリモート導入、設定、アップデートの実行に役立ちます。Dell Lifecycle Controller Remote Services には、セキュアなウェブサービスインターフェイスを使ってネットワーク経由でアクセスできます。アプリケーションやスクリプトで使用することも可能です。また、サーバに対してインポートおよびエクスポートを行い、1 対多のクローン操作を実行することが可能なすべてのシステム設定を単一のビューに表示することもできます。

Remote Services を使用して、次のタスクを実行することができます。

- 管理コンソールによる 1 対多のベアメタルサーバプロビジョニングを可能にする。
- 接続された Dell システムをネットワークに対して識別および認証する。
- 1 対多の管理コンソールと統合し、サーバのセットアップと管理に必要な手動での手順を削減する。
- オペレーティングシステムを導入し、リモートアップデートとインベントリを行い、セットアップと設定を自動化する。

トピック :

- [iDRAC With Lifecycle Controller を使用するメリット](#)
- [Lifecycle Controller Remote Services を使用する利点](#)
- [主な機能](#)
- [Lifecycle Controller のライセンス可能機能](#)
- [本リリースの新機能](#)
- [Redfish と Service API について](#)
- [Lifecycle Controller API について](#)
- [1 対多管理について](#)

iDRAC With Lifecycle Controller を使用するメリット

サーバの組み込み型管理機能にある iDRAC with Lifecycle Controller では、BIOS およびハードウェアの設定、オペレーティングシステムの導入、RAID 設定の変更、ハードウェアプロファイルの保存など、便利なタスクを実行できます。Lifecycle Controller と iDRAC の関係により、サーバのライフサイクル全体を通じて使用できる堅牢な管理機能がもたらされます。

Lifecycle Controller は、プロビジョニング、導入、パッチ、アップデートから、サービス、ユーザーによるカスタム化まで、ローカルおよびリモートの両方でサーバのライフサイクル管理を簡素化します。Lifecycle Controller には、システム管理機能とオペレーティングシステムのデバイスドライバがサーバに直接組み

込まれている永続ストレージが管理下に含まれるため、これまでシステム管理に必要なメディアベースのシステム管理ツールおよびユーティリティが不要になります。

次のメリットが挙げられます。

- アップタイムの向上 - 実際の障害と発生する可能性がある障害を早期に通知して、サーバ障害を防止し、障害後のリカバリ時間を短縮します。
- 生産性の向上および総所有コスト (TCO) の削減 - 管理者の対応範囲を遠隔地に存在するより多くのサーバに拡大できるため、交通費などの運用コストを削減しながら IT スタッフの生産性を向上させることができます。
- セキュリティの強化 - リモートサーバへのセキュアなアクセスを提供することにより、管理者はサーバおよびネットワークのセキュリティを維持しながら、重要な管理作業を行うことができます。
- 効率性の向上 - Dell OpenManage Essentials およびパートナーコンソールを使用して、サーバ設定の管理を自動化することができます。これによりサーバ導入の拡張に合わせた効率的な管理が可能になります。

iDRAC の詳細に関しては、dell.com/esmmanuals で入手できる『*Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド*』を参照してください。

Lifecycle Controller Remote Services を使用する利点

一般的な管理タスクは、複数のツールに機能が分割されているため、処理に時間がかかります。プロビジョニングや更新といったタスクには、複数のツールと複数のメディアフォーマットが必要です。タスクを実行するには、ドライバやファームウェアのようなリソースを手作業で検索する必要がある場合があります。

Lifecycle Controller Remote Service は、以下を実現することにより、このような管理タスクを簡素化します。

- 複数の機能にアクセスする、統合されたインターフェース
- 統一インターフェースから実行可能な、プロビジョニング、導入、アップデートのようなシステム管理タスク
- システムをアップデートおよび管理するために必要なドライバとファームウェアの自動ダウンロード
- エラーとセキュリティリスクの減少

主な機能

Lifecycle Controller-Remote Service を使用して、次のシステム管理タスクを実行することができます。

- オペレーティングシステムおよびドライバのインストール
- ライセンスの管理
- BIOS、iDRAC/LC、バックプレーンおよびエンクロージャコントローラ、RAID、NIC/CNA、Fibre Channel ホストバスアダプタ、PCIe SSD、SAS HDD と SSD、および SATA HDD を含むサーバファームウェアアップデートを実行します。
- 部品交換およびサーバ設定自動復元の実行
- ハードウェアインベントリ情報の取得
- NIC/CNA、Fibre Channel ホストバスアダプタ (FC HBA)、PCIe SSD および RAID 構成の取得と設定
- BIOS 設定および BIOS パスワードの取得と設定
- Lifecycle ログの完全エクスポートと作業メモの追加
- 現在および工場出荷時のハードウェアインベントリログのエクスポート
- vFlash SD カードパーティションの管理、接続、および起動
- ローカルキーを使用したコントローラのロック
- サーバプロファイルのエクスポートおよびインポート
- サーバライセンスのインポート
- サーバアップデート中のファームウェア詳細の表示
- アップデートおよび設定のスケジュールおよび状態の追跡
- コンポーネント設定に関する情報を含むサーバ設定プロファイルファイルのインポートおよびエクスポート

- 帯域外サーバーパフォーマンスの監視
- ハッシュパスワードを使用したセキュリティの強化
- ログ、監視、サーバー情報の表示、およびモバイルデバイスを使用したサーバーのネットワークパラメータの設定
- サーバー関連情報の削除
- 物理コンピュータシステムビューを使用した管理下システムの表示
- ウェブサーバー証明書の管理
- USB 管理ポートの設定
- ビジネスクリティカルな問題を解決するための SupportAssist Collection の表示
- サーバープロファイルのインポート機能を使用したマザーボードの交換

Lifecycle Controller-Remote Services 機能は、購入されたライセンスの種類に基づいて使用します。使用可能なライセンスには、Basic Management、iDRAC Express、iDRAC Express for Blades、iDRAC Enterprise があります。iDRAC ウェブインタフェースおよび Lifecycle Controller-Remote Services で使用できるのは、ライセンス付与された機能のみです。ライセンス管理に関する詳細については、『iDRAC ユーザーズガイド』を参照してください。Lifecycle Controller-Remote Services のライセンスの詳細に関しては、「[ライセンス取得可能な機能](#)」を参照してください。

Lifecycle Controller のライセンス可能機能

Web Services for Management (WSMAN) ライセンスと権限仕様には、Lifecycle Controller 搭載の Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) によって提供される WSMAN API を使用するために必要なライセンスと権限情報のすべてが包含されています。

Lifecycle Controller は、第 11 世代 Dell PowerEdge サーバ以降、iDRAC (Express ライセンス、Enterprise ライセンス、および vFlash SD カード機能) の一部として提供されています。第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバでは vFlash 機能が iDRAC Enterprise ライセンスに含まれていることから、Lifecycle Controller 2.0 以降では vFlash のライセンスを別途取得する必要がありません。第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバは、Express または Enterprise ライセンスのみを使用します。

Lifecycle Controller 管理機能は、個々の管理機能または機能性について包括的な詳細を指定する Dell Common Information Model (DCIM) プロファイル仕様によって、明確な分野に分割および表現されます。これらの機能は、無料、部分的にライセンス対象、または完全にライセンス対象である場合があります。また、機能へのアクセスは WSMAN 要求と共に提供される資格情報によって定義され、管理者または読み取り専用アクセスなどの、ユーザー割り当ての権限資格情報にマップされます。

本リリースの新機能

本リリースでサポートされているアップデートは、次のとおりです。

- Dell EMC PowerEdge R440、R540、T440、T640、FC640、および M640 サーバーのサポートを追加。

Redfish と Service API について

Web Services-Management (WSMAN) は、Distributed Management Task Force (DMTF) のオープン標準で、サーバ、デバイス、アプリケーション、および各種ウェブサービスを管理するための Simple Object Access Protocol (SOAP) を定義します。WSMAN は、IT インフラストラクチャ全体でシステムが管理情報にアクセスし、交換するための共通の手段を提供します。

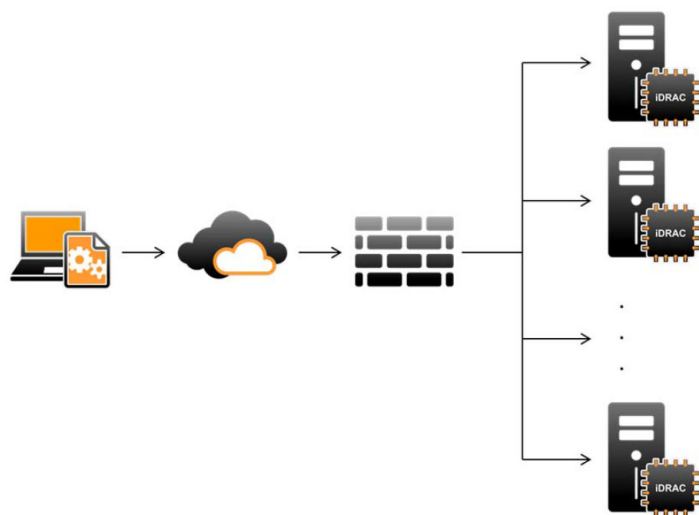
DMTF は、企業 IT 環境におけるシステム管理のための標準を開発、維持、および促進する業界団体です。DMTF データモデルは複雑で、ユーザー名とパスワードの指定やユーザーアカウントに対する管理者権限の付与など、簡単な操作を行うために複数のトランザクションが必要となります。これらのトランザクション数を削減するため、Lifecycle Controller には、属性モデルをベースとした管理用のデルデータモデルも用意されています。

スケーラブルプラットフォーム管理フォーラム (SPMF) では、Distributed Management Task Force (DMTF) の Redfish API を公開しています。これは業界標準のオープンな仕様およびスキーマで、スケーラブルプラットフォームハードウェアをシンプルかつ最新の方法でセキュアに管理することに対する、IT 管理者のニーズを満たすように設計されています。Redfish は、ハイパーメディア RESTful インタフェース内でデータモデル表現を使用した NextGen 管理標準です。このデータモデルは、マシンが読み取れる標準のスキーマによって定義されており、メッセージのペイロードは JSON で表現され、プロトコ

ルは OData v4 を使用しています。Redfish はハイパーメディア API であり、一貫性のあるインタフェースを使用してさまざまな実装を表現できます。これには、データセンターリソースの検出と管理、イベント処理、およびタスク管理のためのメカニズムが含まれています。

Lifecycle Controller API について

Lifecycle Controller Remote Services は、リモートに設置されているサーバに対してコンソールによるベアメタルプロビジョニングと 1 対多のオペレーティングシステム導入の統合を可能にする、標準ベースのインタフェースです。Lifecycle Controller は、Lifecycle Controller GUI と Lifecycle Controller Remote Services の両方の機能を活用して、サーバ導入の大幅な改善とシンプル化を実現します。

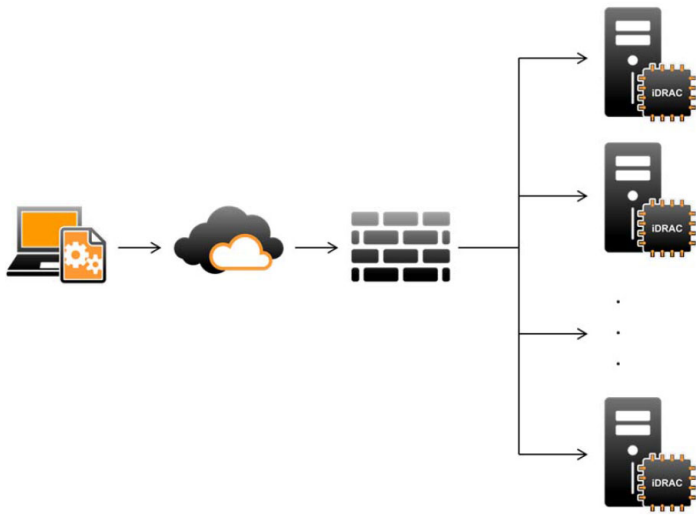


Lifecycle Controller は、単一サーバおよびローカルサーバでオペレーティングシステムのインストール、アップデート、設定、および診断を行うために、サーバのカーネルベースの仮想マシン (KVM)、または iDRAC の **仮想コンソール** を使用した、グラフィカルユーザーインタフェース (GUI) を介するローカルでの 1 対 1 システム管理タスクもサポートします。これにより、ハードウェア構成に複数のオプション ROM を使用する必要がなくなります。詳細に関しては、**delltechcenter/lc** で入手できる『Lifecycle Controller User's Guide (Lifecycle Controller ユーザーズガイド)』を参照してください。



1 対多管理について

管理ステーションは WSMAN および Redfish コマンドをネットワーク経由で送信します。これらのコマンドはファイアウォールの外側からネットワークをセキュアに通過し、セキュリティを維持します。



Remote Services を使用した操作

Lifecycle Controller-Remote Service を使用して、次の操作を実行することができます。

- 展開と設定
- 監視
- 保守
- ジョブの作成とスケジュール

トピック：

- [導入と設定](#)
- [監視](#)
- [保守](#)

導入と設定

Lifecycle Controller-Remote Services の各種機能を使用することにより、システムのライフサイクルを通じてシステム上でさまざまな設定を実行することができます。ユーザーはシステム上における BIOS、iDRAC、RAID、FC-HBA、NIC 設定などの操作、およびオペレーティングシステム導入を実行することが可能です。

監視

Lifecycle Controller-Remote Services の各種機能を使用することにより、システムのライフサイクルを通じてシステムを監視することができます。現在および工場出荷時のハードウェアインベントリ、ライフサイクルログ、システムイベントログ、ファームウェアインベントリなど、システムの監視に役立つ機能が用意されています。

保守

Lifecycle Controller-Remote Services の各種機能を使用することにより、システムのライフサイクルを通じてシステムの正常性を維持することができます。システムを維持するために、リモートファームウェア管理、部品交換、サーバプロファイルのインポートまたはエクスポート、サーバのプロビジョニングなどの機能を使用できます。

API 関連資料およびリンク - はじめに

Lifecycle Controller API の使用を開始するには、以下の手順に従います。

- 1 機能、または必要な管理操作を特定する。
- 2 必要な管理アクティビティに対する API の構成を決定する。
- 3 API へのアクセスにクライアントを利用する。
- 4 管理アクティビティを実行するため、クライアントが API と対話するためのベストプラクティスワークフローを使用する。

トピック：

- [WSMAN プロファイル](#)
- [WSMAN MOF WSDL および XSD API の定義](#)
- [ウェブサービスインタフェースガイド](#)
- [属性レジストリ XML](#)
- [イベントメッセージレジストリ XML](#)
- [XML スキーマ](#)
- [Redfish](#)
- [API アクセスの認証およびライセンス要件](#)

WSMAN プロファイル

プロファイルには、各機能の動作と必要なクラス、プロパティ、メソッド、およびその機能を表す設定可能な管理属性を記述します。プロファイル文書では、CIM アーキテクチャという枠内で提供される Lifecycle Controller-Remote Services でサポートされる機能を説明します。プロファイル仕様は、異なる管理領域およびドメインを中心に組織化されます。

WSMAN MOF WSDL および XSD API の定義

プロファイル文書を補完するファイルが管理下オブジェクトファイル (MOF) で、デル固有の CIM クラス実装を記録します。ウェブサービス記述言語 (WSDL)、XML スキーマ定義 (XSD) ファイルは、結果として生じる機能を記述します。

ウェブサービスインタフェースガイド

ウェブサービスインタフェースガイド (WSIG) は、組み込まれた Lifecycle Controller Remote Services ウェブサービスインタフェースから利用可能な機能を利用するためのガイドラインです。Windows WinRM とオープンソース WSMANCLI コマンドラインユーティリティを使用して WSMAN プロトコル向けのウェブサービスを活用するための情報と例を提供します。

- Windows バージョン — http://en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20066174.aspx
- Windows バッチファイル例 — http://en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20066179.aspx
- Linux バージョン — http://en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20438394.aspx
- Linux WSMAN シェルスクリプト例 — http://en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20066181.aspx

属性レジストリ XML

属性レジストリは、特定のコンポーネントの属性とプロパティのすべてを XML フォーマットでリストします。RAID、NIC、iDRAC、BIOS、FC HBA、PCIe SSD の属性レジストリについては、<http://en.community.dell.com/dell-groups/dtcmmedia/m/mediagallery/20440476> を参照してください。

イベントメッセージレジストリ XML

メッセージレジストリ XML は、全プロファイルからのメッセージ、メッセージ ID、およびメッセージ引数をすべて記述します。

この圧縮ファイルには、iDRAC および Lifecycle Controller イベント、およびエラーメッセージデータが XML フォーマットで含まれており、DMTF DSP0228 メッセージレジストリ XML スキーマに準拠しています。また、圧縮ファイルには、コンテンツの容易な検索に役立つ XSL ファイルも含まれています。

『*Dell Event Message Reference Guide* (Dell イベントメッセージリファレンスガイド)』を表示するには、<http://en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/Lifecycle-controller#attributereg> にアクセスして、最新バージョンの OpenManage ソフトウェアをクリックします。このイベントメッセージリファレンスガイドは、システムコンポーネントを監視するファームウェアおよびその他のエージェントが生成するエラーやイベントについての情報を提供します。これらのイベントは記録され、ユーザーはシステム管理コンソールで表示することができます。

XML スキーマ

『*Lifecycle Controller XML Schema Guide*』(*Lifecycle Controller XML スキーマガイド*)には、次のような Lifecycle Controller 出力 XML コンテンツを記述するために Lifecycle Controller によって使用される XML の解釈が説明されています。

- ログ
- 設定結果
- ハードウェアインベントリ
- 属性
- サーバ設定プロファイル

① **メモ:** 『*Lifecycle Controller XML Schema Guide*』(*Lifecycle Controller XML スキーマガイド*) にアクセスするには、次のリンク、http://en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20270305 を使用してください。

Redfish

Redfish は、クライアントが提供する URL を使って、アクセス先のリソースを指定するウェブベースの API です。Redfish のリソースを指定するには、URL が必須です。Redfish API では、すべてのリソースに対し、`/redfish/v1/` パターンのようなシンプルな URL 階層を使用します。Redfish のリソースにアクセスするには、`https://<iDRAC IP>/redfish/v1/<リソースパス>` のような URL パターンを使用します。

『*Redfish API Reference Guide* (Redfish API リファレンスガイド)』は、Redfish スケーラブルプラットフォーム管理 API 標準の概要を提供しており、第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバに対するデルの Redfish の実装について説明しています。この実装は、Lifecycle Controller 搭載の iDRAC (integrated Dell Remote Access Controller) によって提供されています。

詳細に関しては、http://en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20442330 を参照してください。

API アクセスの認証およびライセンス要件

iDRAC ライセンスには 4 つのレベルがあります。

① **メモ:** リンク en.community.dell.com/techcenter/extras/m/white_papers/20067632.aspx を使って、『*WSMAN License and Privilege Specification*』(WSMAN ライセンスと権限仕様) ホワイトペーパーをダウンロードします。

- IPMI 付き Base Management

- Express
- ブレード用 Express
- エンタープライズ

表 1. ライセンス

特長	IPMI 付き Base Management	iDRAC Express	ブレード用 iDRAC Express	iDRAC Enterprise
リモートファームウェアアップデート	*はい	有	有	有
リポジトリベースのアップデート	無	無	無	有
自動アップデート	無	無	無	有
オペレーティングシステムの導入	無	有	有	有
デバイス構成	*はい	有	有	有
診断	有	有	有	有
サーバープロファイルエクスポート	無	無	無	有
サーバープロファイルインポート	有	有	有	有
部品交換	無	有	有	有
Remote Service (WSMAN 経由)	有	有	有	有

* の表記は、利用可能な最新の PowerEdge サーバでのみ、機能がサポートされていることを示します。

Lifecycle Controller API の統合

本項では、Lifecycle Controller API をアプリケーションに統合するために必要なリソースを説明します。

- **API クライアント** - WinRM または WSMAN への対応に使用できる API クライアントを紹介します。これらの API クライアントを使用すれば、さまざまなプログラミング言語でアプリケーションを作成できます。
- **ベストプラクティスガイド** — 共通ワークフローについての情報を提供します。これには、すべての共通ワークフローのためにすぐに使用できる Python スクリプトが提供されています。
- **サンプルスクリプトとツール** — 追加の作業例および参照を提供します。
- **Lifecycle Controller-Remote Services を使用するアプリケーション** — すでに Lifecycle Controller API と統合されている既存アプリケーションをいくつかリストします。
- **WinRM および OpenWSMAN のインストールと設定** — WinRM および WSMAN を設定するためのリソースを特定します。

トピック：

- [API クライアント](#)
- [ベストプラクティスワークフローのリファレンス](#)
- [サンプルスクリプトとツール](#)
- [Lifecycle Controller-Remote Services を使用するアプリケーション](#)
- [WinRM および OpenWSMAN のインストールと設定](#)

API クライアント

各種 API クライアントへのリンクは次のとおりです。

- WinRM スクリプティング API, MSDN — [msdn.microsoft.com/en-us/library/aa384469\(VS.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa384469(VS.85).aspx)
- Redfish — <https://www.dmtf.org/standards/redfish>
- Openwsman CLI — <https://github.com/Openwsman/wsmancli>
- Windows PowerShell ブログ — blogs.msdn.com/PowerShell
- Windows PowerShell ScriptCenter — microsoft.com/technet/scriptcenter/hubs/msh.mspix
- Recite — インタラクティブな WSMAN スクリプティング環境 — en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3757.recite-interactive-ws-man-scripting-environment.aspx
- Intel WSMAN Java クライアントライブラリ — software.intel.com/en-us/articles/download-the-latest-intel-ws-management-java-client-library

ベストプラクティスワークフローのリファレンス

詳細に関しては、www.dell.com/support で入手できるベストプラクティスガイドを参照してください。

サンプルスクリプトとツール

Lifecycle Controller API を使用するいくつかのサンプルスクリプトは、Recite でも使用できます。Recite は、Lifecycle Controller API を使用するためのシンプルで高速なインターフェースを提供する、Python ベースのツールです。Recite にはインタラクティブモードがあり、サーバ上で単一のコマンドを実行したり、バッチコマンドを実行して一連の操作を自動化したりするのに役立ちます。

- インタラクティブな Recite 環境 — en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3757.recite-interactive-ws-man-scripting-environment.aspx
- その他のスクリプト例 - en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/1981.scripting-the-dell-Lifecycle-controller.aspx

Lifecycle Controller-Remote Services を使用するアプリケーション

次のアプリケーションは、Lifecycle Controller-Remote Services を使用します。

- Dell OpenManage Integration Suite for Microsoft System Center - <http://en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/4111.openmanage-integration-suite-for-microsoft-system-center>
- OpenManage Essentials - システム管理 - delltechcenter.com/ome
- Chassis Management Controller (CMC) - delltechcenter.com/cmc

WinRM および OpenWSMAN のインストールと設定

Windows 管理ステーション上では WinRM 3.0 の使用が推奨されます。WinRM 3.0 は、Windows 8、Windows 10、および Windows Server 2012 の一部としてデフォルトでインストールされます。また、次のオペレーティングシステムの Windows Management Framework Core パッケージの一部としてインストールすることもできます。

- Windows Server 2008 SP1
- Windows Server 2008 SP2
- Windows Server 2003 SP2
- Windows Vista SP1
- Windows Vista SP2
- Windows XP SP3
- Windows Server 2012
- Windows 8
- Windows 10
- Windows 2012 R2
- Windows 2016

① メモ: WinRM および WSMAN を使用して多数 (約 60 以上) の属性を設定する場合、iDRAC タイムアウトエラーが表示される場合があります。iDRAC タイムアウトエラーを回避するために、サーバ設定プロファイル (SCP) 手法を使用してセットアップ操作を実行することができます。

WinRM 3.0 を Windows Management Framework Core パッケージの一部としてインストールする方法の詳細に関しては、technet.microsoft.com で Microsoft サポート技術情報記事 968929 を参照してください。

Windows リモート管理のバージョンについては、[technet.microsoft.com/en-us/library/ff520073\(v=ws.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff520073(v=ws.10).aspx) を参照してください。

Windows Remote Management をインストールして設定するには、[msdn.microsoft.com/en-us/library/windows/desktop/aa384372\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/windows/desktop/aa384372(v=vs.85).aspx) を参照してください。

OpenWSMAN CLI はオープンソースの Linux WSMAN クライアントです。OpenWSMAN CLI ソースコードとインストール情報は、openwsman.github.io から入手することができます。

① **メモ:**

トランスポート層セキュリティ (TLS) に関する情報

- セキュアな接続を確保するため、デルは TLS 1.1 以上の使用をお勧めします。
- デフォルトでは、iDRAC は TLS1.1 を使用するように設定されています。古いバージョンの Windows を使用している場合は、必要な Windows 更新プログラムをインストールし、TLS 1.1 または最新バージョンのレジストリを変更してください。
- TLS 1.1 を使用するには、WSMAN CLI v2.6.0 が必要です。古いバージョンの WSMAN CLI を使用する場合は、iDRAC の TLS 設定を TLS 1.0 に変更する必要があります。
- WSMAN 2.6.0 の invoke コマンドをコンパイルする場合、セパレータとして & を使用してください。カンマ (,) はセパレータとしてサポートされていません。

ソーシャルメディアリファレンス

最新情報を入手するには、Dell テックセンターにアクセスして必要な情報を検索してください。

表 2. 製品情報

製品名と関連トピック	Dell テックセンターのリンク
Lifecycle Controller	en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/1979.lifecycle-controller.aspx
integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC)	en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/3204.dell-remote-access-controller-drac-idrac.aspx
Chassis Management Controller	en.community.dell.com/techcenter/systems-management/w/wiki/1987.dell-chassis-management-controller.aspx
Dell テックセンターコミュニティへの投稿とベストプラクティス	en.community.dell.com/techcenter/extras/w/wiki/3836.contributing-to-dell-techcenter-community.aspx
システム管理総合フォーラム	en.community.dell.com/techcenter/systems-management/f/4469.aspx

システム管理フォーラム

Dell テックセンターの **Dell systems management (Dell システム管理)** ページには、Dell OpenManage 製品全種、Dell 組み込み型管理、Dell KACE、およびサードパーティのシステム管理コンソールとの統合に関する情報が記載されています。さらに、システム管理 Wiki、フォーラム、ブログが毎日アップデートされ、質問に答えたり、トピックを掘り下げたり、IT プロフェッショナルや IT 管理者からの詳細情報を提供したりしています。

システム管理フォーラムの詳細に関しては、en.community.dell.com/techcenter/systems-management/f/4469.aspx を参照してください。

トピック :

- [関連マニュアル](#)
- [デルサポートサイトからの文書へのアクセス](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)

関連マニュアル

本ガイドに加え、dell.com/support/home または dell.com/idracmanuals から入手可能な次のガイドを参照することができます。

- 『Lifecycle Controller オンラインヘルプ』には、GUI で利用できるフィールドの情報、およびその説明が記載されています。Lifecycle Controller のユーザーインターフェースでオンラインヘルプ情報を表示するには、右上隅の **Help (ヘルプ)** をクリックするか、<F1> を押します。
- 『Lifecycle Controller リリースノート』は、製品に付属しています。Lifecycle Controller ユーザーインターフェース内でリリースノートを読むには、**About (バージョン情報)** をクリックし、**View Release Notes (リリースノートの表示)** をクリックします。システムやマニュアルの最新のアップデート情報、またはユーザーや技術者向けの高度な技術情報を提供するためのウェブバージョンもあります。
- *Dell TechCenter* の『Dell iDRAC ライセンスホワイトペーパー』。この文書では、iDRAC のデジタルライセンスの概要と、PowerEdge サーバで利用できる iDRAC とこの最新ライセンスの差異を説明しています。このホワイトペーパーには、iDRAC Express および Enterprise が提供するその他の価値についても説明されています。

- 『Lifecycle Controller Remote Services For PowerEdge Servers Quick Start Guide (PowerEdge サーバ用 Lifecycle Controller Remote Services クイックスタートガイド)』には、Remote Services の使用に関する情報が掲載されています。
- 『システム管理概要ガイド』にはシステム管理タスクを実行するために使用できる、様々なデルソフトウェアに関する簡単な情報が記載されています。
- 『Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) ユーザーズガイド』は、お使いのシステムとその共有リソースをネットワーク経由でリモートで管理および監視するために、ラック、タワー、およびブレードサーバ用 iDRAC を設定して使用することについての情報を提供します。
- 『Dell Repository Manager ユーザーズガイド』には、サポートされている Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行するシステム用に、Dell Update Packages (DUP) を含むカスタムバンドルおよびリポジトリを作成する方法についての情報が掲載されています。
- 『Dell システムソフトウェアサポートマトリックス』の「Lifecycle Controller 対応 Dell システムとオペレーティングシステム」の項には、ターゲットシステムに導入できる Dell システムおよびオペレーティングシステムのリストが掲載されています。
- 『PowerEdge RAID Controller (PERC) 9 ユーザーズガイド』には、PERC 9 コントローラの仕様と設定に関する情報が掲載されています。
- 『用語集』では、本書で使用されている用語が説明されています。
- 『Dell OpenManage Server Update Utility ユーザーズガイド』には、システム用のアップデートを識別、適用するための DVD ベースのアプリケーションの使用に関する情報が提供されています。

詳細については、次のシステムマニュアルを参照することができます。

- システムに付属している「安全にお使いいただくために」には、安全や規制に関する重要な情報が記載されています。規制に関する詳細な情報については、dell.com/regulatory_compliance にある法規制の順守ホームページを参照してください。保証に関する情報は、このマニュアルに含まれているか、別の文書として同梱されています。
- ラックソリューションに付属する『ラック取り付けガイド』はシステムをラックにインストールする方法を説明します。
- 『はじめに』では、システムの機能、システムのセットアップ、および仕様の概要を説明しています。
- 『Owner's Manual』(オナーズマニュアル) では、システムの機能、トラブルシューティングの方法、およびシステムコンポーネントの取り付け方や交換方法について説明しています。
- 『Lifecycle Controller Web Services インタフェースガイド – Windows および Linux』。

ホワイトペーパーは、Lifecycle Controller や iDRAC などのファームウェア製品を使うことで遂行できる、ビジネスクリティカルなプロセスについての詳細情報を理解するために役立ちます。これらのプロセスは、GUI 機能、RACADM コマンド、および WS-MAN コマンドを使用して実行することができます。

詳細に関しては、www.dell.com/techcenter/lc を参照してください。

ベストプラクティスの詳細に関しては、delltechcenter.com で入手できるベストプラクティスガイドを参照してください。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - エンタープライズシステム管理マニュアル Dell.com/SoftwareSecurityManuals
 - OpenManage マニュアル — Dell.com/OpenManageManuals
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — Dell.com/esmanuals
 - iDRAC および Lifecycle Controller マニュアル — Dell.com/idracmanuals
 - OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - サービス可用性ツール マニュアル — Dell.com/ServiceabilityTools
 - Client Command Suite システム管理マニュアル — Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals
- Dell サポートサイトから、
 - Dell.com/Support/Home に移動します。
 - Select a product (製品の選択)** セクションで、**Software & Security (ソフトウェアとセキュリティ)** をクリックします。
 - Software & Security (ソフトウェアとセキュリティ)** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - Enterprise Systems Management (エンタープライズシステム管理)**

- Remote Enterprise Systems Management (リモートエンタープライズシステム管理)
- Serviceability Tools (サービス可用性ツール)
- Dell Client Command Suite(デルクライアントコマンドスイート)
- Connections Client Systems Management (接続クライアントシステム管理)

d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。

- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。

デルでは、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **Choose a Country/Region (国 / 地域の選択)** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 目的のサービスまたはサポートを選択します。

用語と定義

次の表は、この文書で使用される用語とその定義の一覧です。

表 3. 用語と定義

用語	定義
LC	Lifecycle Controller
列挙	DSP0226_V1.1 のセクション 8.2 および DSP0227_V1.0 のセクション 9.1 に説明されている WS-MAN ENUMERATE 操作を参照してください。
取得	DSP00226_V1.1 のセクション 7.3 および DSP0227_V1.0 のセクション 7.1 に定義されている WS-MAN GET 操作を参照してください。
iDRAC	ブレード、ラック、およびタワーサーバー用の Integrated Dell Remote Access Controller 管理コントローラ
USC	Unified Server Configurator
iSCSI	Internet Small Computer System Interface。データストレージ施設をリンクするためのインターネットプロトコル (IP) ベースのストレージネットワーク標準です。
SSM	System Services Manager
CSIOR	再起動時のシステムインベントリの収集
SSIB	システムサービス情報ブロック
UEFI	Unified Extensible Firmware Interface
BIOS	基本入出力システム
NIC	ネットワークインタフェースコントローラ
FC-HBA	Fibre Channel – ホストバスアダプタ
FGDD	完全修飾デバイス記述
LCL	Lifecycle ログ
WSIG	ウェブサービスインタフェースガイド
WSMan	ウェブサービス管理
RCADM	Remote Access Controller Admin。iDRAC および Lifecycle Controller 用のスクリプトインタフェース